

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	通年	学 年	1年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	コミュニケーションスキルⅠ	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	資格を活かし、病院等へ就職が決定するまで意識を高めるように取り組む。				
	到達目標				
	テキスト・面接対策ビジネスマナーを使用して、社会人としてのルールや医療従事者として心構えを学ぶ。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第1章国語1.漢字の読み書き（Ⅰ）2.漢字の読み書き（Ⅱ）	11	7.日本史（Ⅰ）8.日本史（Ⅱ）
2	3.漢字の読み書き（Ⅲ）4.漢字の読み書き（Ⅳ）5.漢字の読み書き（Ⅴ）	12	9.世界史（Ⅰ）10.世界史（Ⅱ）
3	6.漢字の読み書き（Ⅳ）7.漢字の読み書き（Ⅶ）8.同字異読語の読み	13	11.思想史 12.文化史 13.人物史
4	9.読みにくい漢字 10.同音異義語の聞き取り 11.同訓異義語の聞き取り	14	14.民主政治の原理 15.日本国憲法 16.国際社会
5	12.同義語・対義語/漢字の総合問題 13.ことわざ/故事成語 14.四字熟語（Ⅰ）	15	17.国民経済 18.金融・財政 19.国民福祉
6	15.四字熟語（Ⅱ） 16.国語の常識問題（Ⅰ） 17.国語の常識問題（Ⅱ）	16	20.社会の常識問題（Ⅰ） 21.社会の常識問題（Ⅱ）
7	18.文学史（Ⅰ）上代～中古 19.文学史（Ⅱ）中世～近世 20.文学史（Ⅲ）近代 21.文学史（Ⅳ）明治～大正～昭和・戦後	17	第3章 英語 1.英単語（Ⅰ）2.英単語（Ⅱ）
8	第2章 社会 1.日本地理（Ⅰ）2.日本地理（Ⅱ）	18	3.発音・アクセント 4.熟語表現 5.ことわざと標示
9	3.日本地理（Ⅲ）4.世界地理（Ⅰ）	19	6.会話表現 7.英文法 8.英文和訳と和文英訳
10	5.世界地理（Ⅱ）6.世界地理（Ⅲ）	20	第4章 数学 1.式の計算（Ⅰ）2.式の計算（Ⅱ）

回数	講義内容	回数	講義内容
21	3.式の計算（Ⅲ） 4.文字式と指数法則 5.整式の展開と整理	31	
22	6.整式の因数分解 7.方程式 8.文章題（Ⅰ）	32	
23	9.文章題（Ⅱ） 10.図形問題（Ⅰ）	33	
24	11.図形問題（Ⅱ） 12.特殊な問題	34	
25	第5章理科 1.物理 2.化学	35	
26	3.生物 4.地学	36	
27	第6章 総合問題 第1回	37	
28	第2回	38	
29	第3回	39	
30	期末試験	40	

講義方法 プリントを配布 適宜、グループ学習
講義で使用する機器・教材 必要に応じてipadを使用する
履修上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業には休まず出席すること ・ 就職前の準備として、社会人のマナーを身に付ける
成績評価方法 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
教科書 一般常識チェック&マスター
参考書 面接対策&ビジネスマナー
予習復習のアドバイス 特に予習復習なし

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	通年	学 年	1年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	基礎医学	講義曜日	時間割参照	講義回数	45
		単位時間数	90	単位数	3
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	医学知識の基本を学習し、理解する。				
	到達目標				
	病院職員として必要な医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	Chapter 1 ①身体の方向・面・区分の表現方法	11	Chapter 3 ②血管
2	Chapter 1 ①身体の方向・面・区分の表現方法	12	Chapter 3 ③リンパ系
3	Chapter 1 ②人体の構成要素 1,細胞	13	Chapter 4 ①体液の成分と役割 ②血液の組成 1~2
4	Chapter 1 ②人体の構成要素 2、ウイルス	14	Chapter 4 ②血液の組成 3~4
5	Chapter 1 ②人体の構成要素 3、組織	15	Chapter 5 ①骨格系 1、骨 2、骨の疾患
6	Chapter 2 神経系・感覚器 ①神経系1~8	16	Chapter 5 ①骨格系 3、関節の種類と構造
7	Chapter 2 ②感覚器 1、眼球の構造	17	Chapter 5 ②運動を行う筋系
8	Chapter 2 ②感覚器 4、聴覚障害	18	Chapter 6 ①腎臓・尿路の形態と機能 1、糸球体の構造と働き
9	Chapter 3 循環器系 ①心臓 1~5	19	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 1、腎臓の疾患
10	Chapter 3 ①心臓 4~5	20	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 1、腎臓の疾患

回数	講義内容	回数	講義内容
21	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 2、膀胱の疾患	36	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 4、腸の疾患(1)(2)(3)
22	Chapter 7 内分泌系 ①内分泌系の働き②内分泌臓器の分布と機能	37	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 4、腸の疾患(4)(5)(6)
23	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 2、甲状腺の疾患	38	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 5、肝臓の疾患(1)(2)
24	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 3、副腎の疾患	39	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 5、肝臓の疾患(3)(4)
25	期末試験	40	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 6、胆道系の疾患
26	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 4、膵島の疾患	41	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1、女性生殖器の疾患(2)
27	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態 2、下気道の疾患	42	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1、女性生殖器の疾患(3)
28	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態 3、肺にできる悪性腫瘍	43	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1、女性生殖器の疾患(4)
29	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態 4、胸膜の疾患	44	Chapter10 2、男性生殖器の疾患
30	Chapter 9 消化器系 ①消化器の解剖と機能 1、消化管の機能および形態	45	期末試験
31	Chapter 9 ①消化器の解剖と機能2、肝臓、胆嚢、膵臓の構造	46	
32	Chapter 9 ①消化器の解剖と機能2、肝臓、胆嚢、膵臓の構造	47	
33	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 1、口腔内の疾患	48	
34	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 2、食道の疾患	49	
35	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 3、胃の疾患 (1) (2)	50	

講義方法 プリントを配布 適宜、グループ学習
履修上の注意事項 ・授業には休まず出席すること
成績評価方法 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
教科書 基礎医学
参考書 特になし
予習復習のアドバイス 予習・復習をしっかりとすること

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	通年	学 年	1年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	薬学一般	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	医療機関で行われる検査、使用する薬について学ぶ				
	到達目標				
	保険請求などの医療事務の仕事に検査・薬理学を活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	Chapter1 検査の基礎基礎知識 1、検体検査と生理機能検査	11	Chapter9 ①染色体検査 ②遺伝子検査
2	Chapter2 一般検査 ①尿検査 ②糞便検査	12	Chapter10 ①心機能検査 ②呼吸機能検査 ③脳波 ④筋電図検査
3	Chapter2 一般検査 ③髄液検査	13	Chapter10 ⑤超音波検査 ⑥その他の生理学的検査
4	Chapter3 血液検査 ①血液一般検査 ②血液像	14	Chapter10 ⑤超音波検査 ⑥その他の生理学的検査
5	Chapter3 血液検査 ③血液凝固検査 ④骨髓像検査	15	期末試験
6	Chapter4 生化学的検査1～10	16	◎薬理編 Chapter1 ①薬理学とは ②医薬品とは
7	Chapter5 ①免疫性疾患・感染症の検査 ②アレルギー検査	17	Chapter1 ③薬理作用の考え方 ④薬物投与方法
8	Chapter6 ③自己免疫性疾患 ④細胞性免疫検査	18	Chapter2 末梢神経系 ①末梢神経系の生理 ②主な作用薬
9	Chapter7 微生物検査	19	Chapter3 中枢神経作用薬 ①中枢神経系の生理
10	Chapter8 ①病理組織学的検査の流れ	20	Chapter4消化器系疾患に用いる薬 ①消化器系の生理

回数	講義内容	回数	講義内容
21	Chapter5 循環器系疾患に用いる薬 ①循環器系の生理	31	
22	Chapter5 循環器系疾患に用いる薬 ②主な作用薬	32	
23	Chapter6 代謝系疾患に用いる薬	33	
24	Chapter7 呼吸器系疾患作用薬	34	
25	Chapter8 アレルギー性疾患治療薬	35	
26	Chapter⑨～⑩ 抗炎症薬	36	
27	Chapter11 貧血および血液系疾患治療薬	37	
28	Chapter12 感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬①～③	38	
29	Chapter13 輸液製剤①	39	
30	期末考査試験	40	

講義方法

プリントを配布
適宜、グループ学習

講義で使用する機器・教材

必要に応じてipadを使用する

履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

検査・薬理学

参考書

特になし

予習復習のアドバイス

予習・復習をしっかりとすること

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	通年	学 年	1年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	医事ソフトⅠ	講義曜日	時間割参照	講義回数	60
		単位時間数	120	単位数	4
講師名	鈴木 郁子	実務経験	医療機関（総合病院2年・診療所6年）8年 医療事務員として勤務		
講義目標	一般目標				
	医事会計システム基本入力の理解				
	到達目標				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ スムーズな会計入力 ・ 会計ソフトの役割を理解し活用できるようになる 				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	タッチタイピング①	16	・ 例題 9 の内容説明 ・ 例題 9 の入力
2	タッチタイピング②	17	・ 例題 10 の内容説明 ・ 例題 10 の入力
3	タッチタイピング③	18	・ 例題 11 の内容説明 ・ 例題 11 の入力
4	医事ソフトの基本操作①	19	・ 例題 12 の内容説明 ・ 例題 12 の入力
5	医事ソフトの基本操作②	20	・ 例題 13 の内容説明 ・ 例題 13 の入力
6	・ 例題 0 - 1 の内容説明 ・ 例題 0 - 1 の入力	21	・ 例題 14 の内容説明 ・ 例題 14 の入力
7	・ 例題 0 - 2 の内容説明 ・ 例題 0 - 2 の入力	22	・ 例題 15 の内容説明 ・ 例題 15 の入力
8	・ 例題 1 の内容説明 ・ 例題 1 の入力	23	・ 例題 16 の内容説明 ・ 例題 16 の入力
9	・ 例題 2 の内容説明 ・ 例題 2 の入力	24	・ 例題 17 の内容説明 ・ 例題 17 の入力
10	・ 例題 3 の内容説明 ・ 例題 3 の入力	25	・ 例題 18 の内容説明 ・ 例題 18 の入力
11	・ 例題 4 の内容説明 ・ 例題 4 の入力	26	・ 例題 18 の内容説明 ・ 例題 18 の入力
12	・ 例題 5 の内容説明 ・ 例題 5 の入力	27	・ 例題 19 の内容説明 ・ 例題 19 の入力
13	・ 例題 6 の内容説明 ・ 例題 6 の入力	28	・ 例題 20 の内容説明 ・ 例題 20 の入力
14	・ 例題 7 の内容説明 ・ 例題 7 の入力	29	・ 例題 21 の内容説明 ・ 例題 21 の入力
15	・ 例題 8 の内容説明 ・ 例題 8 の入力	30	前期期末考査

回数	講義内容	回数	講義内容
31	・例題 2 3 の内容説明 ・例題 2 3 の入力	56	・例題 4 2 の内容説明 ・例題 4 2 の入力
32	・例題 2 4 の内容説明 ・例題 2 4 の入力	57	・例題 4 3 の内容説明 ・例題 4 3 の入力
33	・例題 2 5 の内容説明 ・例題 2 5 の入力	58	・例題 4 4 の内容説明 ・例題 4 4 の入力
34	・例題 2 7 の内容説明 ・例題 2 7 の入力	59	・例題 4 5 の内容説明 ・例題 4 5 の入力
35	・例題 2 8 の内容説明 ・例題 2 8 の入力	60	後期 期末考査
36	前期総復習①	61	
37	前期総復習②	62	
38	前期総復習③	63	
39	前期総復習④	64	
40	前期総復習⑤	65	
41	・例題 2 9 の内容説明 ・例題 2 9 の入力	66	
42	・例題 2 9 の内容説明 ・例題 2 9 の入力	67	
43	・例題 3 0 の内容説明 ・例題 3 0 の入力	68	
44	・例題 3 1 の内容説明 ・例題 3 1 の入力	69	
45	・例題 3 2 の内容説明 ・例題 3 2 の入力	70	
46	・例題 3 3 の内容説明 ・例題 3 3 の入力	71	
47	・例題 3 4 の内容説明 ・例題 3 4 の入力	72	
48	・例題 3 5 の内容説明 ・例題 3 5 の入力	73	
49	・例題 3 6 の内容説明 ・例題 3 6 の入力	74	
50	・例題 3 7 の内容説明 ・例題 3 7 の入力	75	
51	・例題 3 8 の内容説明 ・例題 3 8 の入力	76	
52	・例題 3 9 の内容説明 ・例題 3 9 の入力	77	
53	・例題 4 0 の内容説明 ・例題 4 0 の入力	78	
54	入院の入力方法	79	
55	・例題 4 1 の内容説明 ・例題 4 1 の入力	80	

講義方法

講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。

講義で使用する機器・教材

医事会計システム、プロジェクター、スクリーン、PC

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

入力練習問題集

予習復習のアドバイス

特に予習復習なし

点数算定について正確に行い、日計処理などの不明点はそのままにせず、

授業時間内、又は休み時間に確認すること

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	前期	学 年	1年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	病院管理学	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	1
講師名	鈴木 郁子	実務経験	医療機関（総合病院2年・診療所6年）8年 医療事務員として勤務		
講義目標	一般目標				
	病院経営に関連する事項などを学習する				
	到達目標				
	病院管理についての役割 病院組織の重要性 医療サービスの特質性				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1、病院管理学とは	11	1 1、薬剤部門
2	2、病院を取り巻く環境	12	1 2、財務管理
3	3、医療倫理	13	1 3、診療報酬請求 DPC・労務管理
4	4、マーケティング概論	14	1 4、ICTと医療 1 5、病院における建築と管理
5	5、リスクマネジメント	15	前期期末考査
6	6、労務管理	16	
7	7、人事・組織管理	17	
8	8、医療管理・医療機能評価	18	
9	9、業務管理	19	
10	1 0、材料（資材）と在庫の管理	20	

講義方法

プリントを配布
適宜、グループ学習

講義で使用する機器・教材

ipadを使用する

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

病院管理学

予習復習のアドバイス

特に予習復習なし

各章ごとに小テストを行うため、毎回の授業で板書をしっかり行うこと

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	前期	学 年	1年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	コーディングⅠ	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	鈴木 郁子	実務経験	医療機関（総合病院2年・診療所6年）8年 医療事務員として勤務		
講義目標	一般目標				
	診断群分類表を使い、病名のコードを正確に判断できるようにする				
	到達目標				
	ICD-10を正確に索引する 病名の理解、読み方を正確にする 検定問題を含め診断群分類をマスターする				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第1編 疾病、傷害および死因統計分類提要ICD-10の準拠の引き方	11	VII、眼および付属器の疾患（練習問題）
2	I、内容の構成（1～3）	12	VIII、耳および乳様突起の疾患（練習問題）
3	II、使用されている記号、符号（1～3） III、主病名の決め方（1～4）	13	IX、循環器系の疾患（練習問題）
4	第2編 病名コーディングの仕方	14	X、呼吸器系の疾患（練習問題）
5	I、感染症および寄生虫症（練習問題）	15	前期期末考査
6	II、新生物（練習問題）	16	XI、消化器系の疾患（練習問題）
7	III、血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害（練習問題）	17	XII、皮膚および皮下組織の疾患（練習問題）
8	IV、内分泌、栄養および代謝疾患（練習問題）	18	XIII、筋骨格系および結合組織の疾患（練習問題）
9	V、精神および行動の障害（練習問題）	19	病名・診断名（読み方）のまとめ①
10	VI、神経系の疾患（練習問題）	20	病名（診断群分類）のまとめ

回数	講義内容	回数	講義内容
21	X IV、腎尿路生殖器系の疾患（練習問題）	31	
22	X V、妊娠、分娩および産褥（練習問題）	32	
23	X VI、周産期に発生した病態（練習問題）	33	
24	X VII、先天奇形、変形および染色体異常（練習問題）	34	
25	X VIII、症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	35	
26	X IX、損傷、中毒およびその他の外因の影響（練習問題）	36	
27	X X、傷害および死亡の外因（練習問題）	37	
28	X X I、健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用（練習問題）	38	
29	I～III（診断群分類練習問題）①	39	
30	後期期末考査	40	

講義方法

プリントを配布
適宜、グループ学習

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

診療情報管理のためのICD10病名コーディングの実際

予習復習のアドバイス

特に予習復習なし
配布される診断群分類表を使い、各章ごとに復習を行うこと

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	通年	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	コミュニケーションスキルII	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	資格を活かし、病院等へ就職が決定するまで意識を高めるように取り組む。				
	到達目標				
	テキスト・面接対策ビジネスマナーを使用して、社会人としてのルールや医療従事者として心構えを学ぶ。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	履歴書作成・施設研究 ※一般常識&SPI 問題集P4～17	11	施設訪問（一次面接）・施設訪問の準備 ※一般常識&SPI 問題集P64～67
2	履歴書作成（ガイダンス） ※一般常識&SPI 問題集P18～21	12	アポイントメントの取り方・訪問時のマナー等 ※一般常識&SPI 問題集P68～71
3	履歴書作成・施設研究 ※一般常識問題集P22～25	13	就職試験対策（履歴書・面接等） ※一般常識&SPI 問題集P72～75
4	履歴書作成・施設研究 ※一般常識&SPI 問題集P26～31	14	就職試験対策（履歴書・面接等） ※一般常識&SPI 問題集P76～79
5	履歴書作成・施設研究 ※一般常識&SPI 問題集P32～33	15	期末考査（問題集より）
6	面接選考はなぜ行われるか・採用担当者の気持ちを考える※一般常識&SPI 問題集P34～37	16	就職試験対策（履歴書・面接等） ※一般常識&SPI 問題集P80～85
7	面接試験の形式・面接の段階 ※一般常識&SPI 問題集P38～45	17	就職試験対策（履歴書・面接等） ※一般常識&SPI 問題集P86～99
8	面接の目的のまとめ ※一般常識&SPI 問題集P46～51	18	就職試験対策（履歴書・面接等） ※一般常識&SPI 問題集P100～107
9	面接練習 ※一般常識&SPI 問題集P52～57	19	就職試験対策（履歴書・面接等） ※一般常識&SPI 問題集P108～111
10	面接練習 ※一般常識&SPI 問題集P58～63	20	就職試験対策（履歴書・面接等） ※一般常識&SPI 問題集P112～114

回数	講義内容	回数	講義内容
21	就職試験対策（履歴書・面接等）※一般常識&SPI 問題集P116～119総合問題①	31	
22	就職試験対策（履歴書・面接等） ※一般常識&SPI 問題集P116～119総合問題②	32	
23	就職試験対策（履歴書・面接等）※一般常識&SPI 問題集P120～123思考力を問う問題①	33	
24	就職試験対策（履歴書・面接等） ※一般常識&SPI問題集P120～123思考力を問う問題②	34	
25	就職試験対策（履歴書・面接等） ※一般常識&SPI問題集P128～136 SPI問題	35	
26	就職試験対策（履歴書・面接等）※一般常識&SPI問題集 P137～139 基礎能力 非言語	36	
27	就職試験対策（履歴書・面接等）※一般常識&SPI問題集 P141～143 基礎能力 言語	37	
28	就職試験対策（履歴書・面接等）※一般常識&SPI問題集 P146～151 正誤の照合、表の読み取り	38	
29	就職試験対策（履歴書・面接等）※一般常識&SPI問題集 P152～157置換、計算、漢字の正誤	39	
30	期末考査（問題集より）	40	

講義方法 プリントを配布 適宜、グループ学習
講義で使用する機器・教材 必要に応じてipadを使用する
履修上の注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業には休まず出席すること ・ 就職前の準備として、社会人のマナーを身に付ける
成績評価方法 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
教科書 一般常識&SPI
参考書 面接対策&ビジネスマナー
予習復習のアドバイス 特に予習復習なし

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	ビジネス作法	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	1
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	医療業務に関わらず、社会人としての所作・作法を理解する				
	到達目標				
	所作・作法・国際儀礼などを学び、社会人としての常識を身につける。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1、オリエンテーション マナーやプロトコールとは何か	11	11、ビジネスマナー 名刺交換、来客対応
2	2、好感度を高めるポイント 第一印象、挨拶、表情、笑顔	12	12、通過儀礼とは何か
3	3、言葉遣いと話し方のポイント 正しい敬語や丁寧な話し方	13	13、結婚のしきたりとパーティーの種類
4	4、自己紹介をしてみる (笑顔、歩き方、姿勢、話し方練習)	14	14、葬儀のしきたりと贈答のしきたり
5	5、プロトコールとは何か 原則、席次、国旗、握手	15	期末考査
6	6、プロトコールとは何か 異文化を知る	16	
7	7、和食のテーブルマナー 箸の使い方の練習	17	
8	8、洋食のテーブル カトラリーの使い方	18	
9	9、手紙の書き方とビジネス文書 正式な手紙を書いてみる	19	
10	10、ビジネスマナー 会社とは何か、社会人意識	20	

講義方法

プリントを配布

適宜、グループ学習

履修上の注意事項

- ・ 授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

マナープロトコール検定のテキスト

予習復習のアドバイス

特に予習復習なし

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	臨床医学Ⅰ	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	1
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	臨床医学全般について検定内容も含め学習する。				
	到達目標				
	病院職員として必要な臨床医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	内科とは	11	chapter 6 ① 血液中の構成成分とその働き ② 血液の主な疾患
2	chapter 1 呼吸器疾患 ① 呼吸器の解剖と働き	12	chapter 7 アレルギー・膠原病 ①免疫系の働き ②主な疾患
3	chapter 1 呼吸器疾患 ② 呼吸器の主な疾患	13	chapter 8 感染症 ①感染症とは ②主な感染症
4	chapter 2 循環器疾患 ① 循環器の解剖と働き	14	chapter 9 脳・脊髄疾患 ①脳・脊髄の解剖と働き ②脳・脊髄の主な疾患
5	chapter 2 循環器疾患 ② 循環器の主な働き	15	期末試験
6	chapter 3 消化器疾患 ① 消化器の解剖と働き	16	
7	chapter 3 消化器疾患 ② 消化器の主な疾患	17	
8	chapter 3 消化器疾患 ② 消化器の主な疾患	18	
9	chapter 4 腎・泌尿器疾患 ② 泌尿器の主な疾患	19	
10	chapter 5 ① 内分泌系の解剖と働き ②内分泌系の主な疾患	20	

講義方法

教科書をメインとしながら、適宜参考資料のプリントを配布

履修上の注意事項

- ・ 授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

臨床医学Ⅰ

予習復習のアドバイス

授業前に教科書を読んでおくこと。

授業後は、教科書・ノートで重要事項の復習を行うこと。

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	D P C 演習	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	鈴木 郁子	実務経験	医療機関（総合病院2年・診療所6年）8年 医療事務員として勤務		
講義目標	一般目標				
	DPC（診断群分類）による入院料の包括支払制度を理解する				
	到達目標				
	DPCの基礎となる診断群分類をマスターする 入院期間別点数を理解する				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1、DPCの概要	11	3、診断群分類番号の構成
2	1、①診断群分類とは	12	3、①傷病名「MDC」「コード」
3	1、②DPC/PDPS導入の背景	13	3、②入院目的
4	1、③対象となる医療機関・病棟	14	3、③年齢・出生体重等
5	1、④対象となる患者・対象とならない患者	15	3、④診療行為、⑤手術処置1
6	2、ツリー図・定義テーブルによる診断群分類の決定	16	3、⑥手術処置2 ⑦副傷病
7	2、①包括評価の対象となる診断群分類	17	3、⑧重症度等
8	2、②包括評価の対象とならない診断群分類	18	4、診療報酬額の算定方法
9	2、③傷病名の決定	19	4、①所定点数に包括されるもの
10	2、④ツリー図と定義テーブルを用いて診断群分類を決定	20	4、②入院期間に応じた点数の設定

回数		回数	講義内容
21	5、④コーディングデータの提出	31	
22	5、④コーディングデータの提出	32	
23	DPC演習問題①～④（計算および包括評価部分記載練習）	33	
24	5、④コーディングデータの提出	34	
25	5、④コーディングデータの提出	35	
26	DPC演習問題①～④（計算および包括評価部分記載練習）	36	
27	DPC演習問題⑤～⑦（計算および包括評価部分記載練習）	37	
28	DPC演習問題⑧～⑩（計算および包括評価部分記載練習）	38	
29	DPC演習問題11、12（計算および包括評価部分記載練習）	39	
30	期末考査	40	

講義方法 プリントを配布 適宜、グループ学習
講義で使用する機器・教材 必要に応じてipadを使用する
履修上の注意事項 ・授業には休まず出席すること
成績評価方法 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
教科書 DPC点数早見表
予習復習のアドバイス 各DPC演習問題については、小テストを行うため 不明な点は、その都度確認し質問すること

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	医事ソフトⅡ	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	鈴木 郁子	実務経験	医療機関（総合病院2年・診療所6年）8年 医療事務員として勤務		
講義目標	一般目標				
	電子カルテの全体像を理解し、スムーズな入力ができるようにする				
	到達目標				
	電子カルテシステムを理解する 診断書などの文書作成の操作を理解する 診療記録の代行入力での入りにミスがないように細心の注意を払う				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	電子カルテシステムの全体像	11	電子カルテシステムの定義 （日本医療情報学会の見解）
2	医療機関における業務処理フロー① （病院：外来の場合）	12	電子カルテシステムのメリット
3	医療機関における業務処理フロー② （病院：入院の場合）	13	電子カルテの機能
4	国策として推進されるIT化	14	電子カルテの型
5	診療録の法的要件と電子化への道	15	電子カルテの関連知識（部門システム）
6	診療録に関する法的要件	16	電子カルテの関連知識 （オーダーリングシステム）
7	電子カルテに関する法的要件 （電子保存の3原則）	17	電子カルテの関連知識 （電子カルテシステムの基本的な機能）
8	電子カルテに関する法的要件 （診療録の外部保存の容認）	18	ユーザー認証、アクセス権限管理・アクセスログ管理
9	医療情報システム発展の中での位置づけ	19	確定保存と確定操作、問診票の入力
10	電子カルテの定義 （保健医療福祉情報システム工業会の見解）	20	電子カルテの記載方法、入力支援ツール

回数	講義内容	回数	講義内容
21	レセプト電算処理システム	31	
22	オンライン請求システム	32	
23	医療情報の標準化	33	
24	プライバシー保護とセキュリティ	34	
25	演習問題③病院：外来（第1号～4号）	35	
26	演習問題③病院：外来（第1号～4号）	36	
27	演習問題④病院：外来（第1号～第4号）	37	
28	演習問題⑤病院：外来（第5号～第8号）	38	
29	演習問題⑥病院：外来（第9号～第11号）	39	
30	期末考査	40	

講義方法 プリントを配布
講義で使用する機器・教材 PC、電子カルテソフト、プロジェクター
履修上の注意事項 ・授業には休まず出席すること
成績評価方法 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
教科書 電子カルテシステムの理解と演習
予習復習のアドバイス 特に予習復習なし 電子カルテシステムを正確に入力できるようその都度習得すること。

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	医療秘書	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	1
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	医療における患者さんや、その家族の方々との「接遇・接遇対応マナー」は医師をはじめ、それぞれの目の前にいる患者さんに対して肉体的・精神的な辛さをわかろうと努力できる姿勢を身に付ける				
	到達目標				
	医療従事者としての態度や言葉遣いを身に付ける 院内の取り決めをも守り、柔軟な対応を身に付ける				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1、職場における人間関係の重要性	11	1 1、事務文書の書き方・作り方
2	2、組織人・医療人としての基本	12	1 2、院内におけるエレベーターでのマナー
3	3、職場の基本的ルールとエチケットマナー	13	1 3、院内での指示・命令の受け方と報告の仕方
4	4、接患・接遇対応の基本	14	1 4、医療ミス・医療事故等を防止するための院内活動
5	5、接患・接遇対応の実践	15	期末考査
6	6、病医院職員の服装と身だしなみ	16	
7	7、院内における正しい姿勢と執務の態度	17	
8	8、院内での言葉の使い方と話し方	18	
9	9、敬語の使い方演習問題	19	
10	1 0、院内における電話の受け方・かけ方	20	

講義方法

プリントを配布

適宜、グループ学習

講義で使用する機器・教材

ipadを使用

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること
- ・教科書はラインを引くなど、重要ポイント・用語がが分かりやすいように、自分なりに作り上げること。
- ・理解できない部分については質問をし、その日のうちに解決すること。

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

医療事務スタッフのためのケア・コミュニケーション

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	前期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	コーディングⅡ	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	鈴木 郁子	実務経験	医療機関（総合病院2年・診療所6年）8年 医療事務員として勤務		
講義目標	一般目標				
	医療技術の進歩とともに、医療現場の拡大、複雑化、多様化が進み、医療従事者の専門分化と部署の独立、中央化が広がってきているため、その対応をや役割を担う診療情報管理士を目指す。				
	到達目標				
診療記録の中で、受診目的となった疾病を読み取る力をつける。 分類実務を行うことでコーディング技術を身に付ける。					

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第3巻 疾病、傷害および死因統計分類提要ICD-10の準拠の引き方①	11	コーディングの練習⑨丸括弧（補足的用語）に注意する。
2	第3巻 疾病、傷害および死因統計分類提要ICD-11の準拠の引き方②	12	コーディングの練習⑩山括弧（和訳した英語の言語を示す時や他に別の表現や漢字があった場合）に注意する。
3	コーディングの練習①内容例示表の使い方	13	コーディングの練習11 []、・ -（広い意味の説明全般）に注意する。
4	コーディングの練習②内容例示表の使い方	14	コーディングの練習12「包含」「除外」（以下のものを含める・具体的な定義）に注意する。
5	コーディングの練習③病名のキーワードを探し検索する	15	コーディングの練習13「・・・を参照」（この指示に従い別の用語を探す必要）に注意する
6	コーディングの練習④病名のキーワードを探し検索する	16	コーディングの練習14「および/または」（AかつB、AあるいはB）に注意する
7	コーディングの練習⑤NOS（詳細不明）に注意する。	17	コーディングの練習15「伴う、～における」（二つの病態を1つのコードで表す時）に注意する
8	コーディングの練習⑥NEC（他に分類されない）に注意する。	18	コーディングの練習16「～を起こした、～による」（原因と結果を表すとき）に注意する
9	コーディングの練習⑦「:」（単語を連結させる）に注意する。	19	コーディングの練習17（複合コードに注意する）
10	コーディングの練習⑧中括弧（用語の繰り返し）に注意する。	20	コーディングの練習18（剣印、星印に注意）

回数	講義内容	回数	講義内容
21	コーディングの練習19（任意的追加コードの取扱いに注意）	31	
22	コーディングの練習20（病名が急性と慢性の両方を含む場合に注意）	32	
23	コーディングの練習21（続発性・後遺症注意）	33	
24	コーディングの練習22（疑診病名・主病名・追加病名）	34	
25	コーディングの練習23（術後の病態および合併症・新生物）	35	
26	コーディングの練習24感染症および寄生虫症	36	
27	コーディングの練習25新生物	37	
28	コーディングの練習26血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	38	
29	コーディングの練習27内分泌、栄養および代謝疾患	39	
30	期末考査	40	

講義方法
座学
講義で使用する機器・教材
ipadを適宜使用する
履修上の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業には休まず出席すること ・ 1年次の基礎課程が必要とされ、診断群の分類を正確にすること
成績評価方法
授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
教科書
疾病、傷害及び死因の統計分類提要ICD準拠（1巻、3巻）
予習復習のアドバイス
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各分類ごとに病名をまとめ、索引表を使用してコーディングをし復習すること

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	後期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	診療情報管理総合演習	講義曜日	時間割参照	講義回数	60
		単位時間数	120	単位数	4
講師名	鈴木 郁子	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	医療情報管理を医療経営に活かし、即戦力となるべき力をつける				
	到達目標				
	医療経営士3級を目指す				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	序章 臨床経営知識キホンのキ	16	第1章 ☆高齢者医療制度はどう変わってきているの？
2	第1章 ☆医療計画と二次医療圏	17	第1章 ☆人生の最終段階の医療・ケアって何？
3	第1章 ☆医療計画と二次医療圏	18	第1章 ☆厚生労働省のうち、医療経営に関する幹部、部局はどこ？
4	第1章 ☆「5疾病5事業」とは何か	19	第1章 ☆厚生労働省のうち、医療経営に関する幹部、部局はどこ？
5	第1章 ☆「5疾病5事業」とは何か	20	第1章 ☆医療・介護に関わっている厚生労働省以外の省庁は？
6	第1章 ☆一次救急、二次救急、三次救急の違い	21	第1章 ☆診療報酬点数はどのように決定されるの？
7	第1章 ☆一次救急、二次救急、三次救急の違い	22	第1章 ☆社会保障審議会、中医協ってどんな組織？
8	第1章 ☆入院・外来の種類	23	第1章 ☆チーム医療って何？
9	第1章 ☆医師不足解消のための施策	24	第1章 ☆チーム医療って何？
10	第1章 ☆一般病棟・医療療養病棟・回復期リハ病棟・地域包括ケア病棟の違い	25	第1章 ☆評価療養とお選定療養はどこが違うの？
11	第1章 ☆一般病棟・医療療養病棟・回復期リハ病棟・地域包括ケア病棟の違い	26	第1章 ☆評価療養とお選定療養はどこが違うの？
12	第1章 ☆病病連携、病診連携、医療と介護の連携	27	第1章 ☆特定機能病院と地域医療支援病院はどこが違うの？
13	第1章 ☆病病連携、病診連携、医療と介護の連携	28	第1章 ☆病院のホームページは広告規制の対象となるの？
14	第1章 ☆在宅療養支援診療所と在宅療養支援病院はどこが違うの？	29	第1章 ☆病院機能評価を受けるメリットは？
15	第1章 ☆国民皆保険制度はどう変わってきているの？	30	第1章 ☆災害医療って何？

回数	講義内容	回数	講義内容
31	第1章 ☆医療経営の再診トピックは何？	56	資料 2、医療現場でよく使われる略語一覧
32	第1章 ☆医学の歴史は大まかにどう分けられるの？	57	資料3、よく使われる薬の商品名・適応疾患・薬効一覧
33	第2章 ☆法律御三家 医療法 重要条文	58	医療経営士3級 予想問題
34	第2章 ☆法律御三家 医療法 医療法人制度	59	医療経営士3級 予想問題
35	第2章 ☆法律御三家 医療法 医療法人制度	60	期末試験
36	第2章 ☆法律御三家 医療法 医療法人制度	61	
37	第2章 ☆法律御三家 医師法 重要条文	62	
38	第2章 ☆法律御三家 療養担当規則 重要条文	63	
39	第2章 ☆保健師助産師看護師法 薬剤師法 重要条文	64	
40	第2章 ☆健康保険法 国民健康保険法 重要条文	65	
41	第2章 ☆健康保険法 国民健康保険法 重要条文	66	
42	第2章 ☆診療報酬のしくみ	67	
43	第2章 ☆出来高払いと包括払いはどこが違うの？	68	
44	第2章 ☆診療報酬と介護報酬の違い	69	
45	第2章 ☆施設サービス	70	
46	第2章 ☆施設サービス	71	
47	第2章 ☆地域密着型サービス	72	
48	第2章 ☆地域密着型サービス	73	
49	第2章 ☆高齢者住宅	74	
50	第2章 ☆平均在院日数と病床利用率	75	
51	第2章 ☆旧看護配置と病床利用率	76	
52	第2章 ☆インフォームドコンセントと損害賠償	77	
53	第2章 ☆医師の残業代未払い問題	78	
54	第2章 ☆医師の残業代未払い問題	79	
55	資料 1、医療経営と関係のあるエビデンス一覧	80	

講義方法

プリントを配布
適宜、グループ学習

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

医療情報の基礎知識

予習復習のアドバイス

毎回の單元ごとに復習をすること

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	後期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	コーディングⅢ	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	鈴木 郁子	実務経験	医療機関（総合病院2年・診療所6年）8年 医療事務員として勤務		
講義目標	一般目標				
	前期継続として医療技術の進歩とともに、医療現場の拡大、複雑化、多様化が進み、医療従事者の専門分化と部署の独立、中央化が広がってきているため、その対応をや役割を担う診療情報管理士を目指す。				
	到達目標				
	診療記録の中で、受診目的となった疾病を読み取る力をつけ、前期よりも、多くの病名コーディングを行う。 分類実務を行うことでコーディング技術を身に付ける。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	コーディング応用問題 1 感染症および寄生虫症	11	コーディング応用問題 1 1 精神および行動の障害
2	コーディング応用問題 2 感染症および寄生虫症	12	コーディング応用問題 1 2 精神および行動の障害
3	コーディング応用問題 3 感染症および寄生虫症	13	コーディング応用問題 1 3 精神および行動の障害
4	コーディング応用問題 4 新生物	14	コーディング応用問題 1 4 神経系の疾患
5	コーディング応用問題 5 新生物	15	コーディング応用問題 1 5 神経系の疾患
6	コーディング応用問題 6 新生物	16	コーディング応用問題 1 6 神経系の疾患
7	コーディング応用問題 7 内分泌、栄養および代謝疾患	17	コーディング応用問題 1 7 眼および付属器の疾患
8	コーディング応用問題 8 内分泌、栄養および代謝疾患	18	コーディング応用問題 1 8 眼および付属器の疾患
9	コーディング応用問題 9 内分泌、栄養および代謝疾患	19	コーディング応用問題 1 9 眼および付属器の疾患
10	コーディング応用問題 1 0 内分泌、栄養および代謝疾患	20	コーディング応用問題 2 0 眼および付属器の疾患

回数	講義内容	回数	講義内容
21	コーディング応用問題 2 1 耳および乳様突起の疾患	31	
22	コーディング応用問題 2 2 耳および乳様突起の疾患	32	
23	コーディング応用問題 2 3 耳および乳様突起の疾患	33	
24	コーディング応用問題 2 4 循環器系の疾患	34	
25	コーディング応用問題 2 5 循環器系の疾患	35	
26	コーディング応用問題 2 5 循環器系の疾患	36	
27	コーディング応用問題 2 7 呼吸器系の疾患	37	
28	コーディング応用問題 2 8 呼吸器系の疾患	38	
29	コーディング応用問題 2 9 呼吸器系の疾患	39	
30	期末考査	40	

講義方法

プリントを配布
適宜、グループ学習

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

疾病、傷害及び死因の統計分類提要ICD準拠（1巻、3巻）

予習復習のアドバイス

- ・各分類ごとに病名をまとめ、索引表を使用してコーディングをし復習すること

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	後期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	カルテ管理Ⅱ	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	1
講師名	鈴木 郁子	実務経験	医療機関（総合病院2年・診療所6年）8年 医療事務員として勤務		
講義目標	一般目標				
	前期継続として医療技術の進歩とともに、医療現場の拡大、複雑化、多様化が進み、医療従事者の専門分化と部署の独立、中央化が広がってきているため、その対応をや役割を担う診療情報管理士を目指す。				
	到達目標				
過去問題を多く履修し、診療報酬能力認定試験検定合格につなげる					

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第Ⅰ編 なぜ医療安全か-医療安全概論として-1～5	11	第Ⅴ編 安全に関する取組みの現状 3.安全管理指針
2	第Ⅰ編 なぜ医療安全か-医療安全概論として-6～14	12	第Ⅴ編 安全に関する取組みの現状 4.産科医療保障制度
3	第Ⅱ編 医療安全にかかわる法律の概念	13	第Ⅴ編 安全に関する取組みの現状 5.医療事故調査制度
4	第Ⅲ編 セーフティマネジメント（安全管理）の必要性・重要性の理解 1.1～1.6	14	第Ⅵ編 医療事故と損害保険
5	第Ⅲ編 セーフティマネジメント（安全管理）の必要性・重要性の理解 2.1～2.5	15	期末考査
6	第Ⅲ編 セーフティマネジメント（安全管理）の必要性・重要性の理解 3.1～3.7	16	
7	第Ⅳ編 ヒューマンファクターの観点から 1.人間信頼性工学	17	
8	第Ⅳ編 ヒューマンファクターの観点から 2.心理学・労働安全など	18	
9	第Ⅴ編 安全に関する取組みの現状 1.各国の現状と取組み	19	
10	第Ⅴ編 安全に関する取組みの現状 2.我が国の現状と取組み	20	

講義方法

プリントを配布

講義で使用する機器・教材

ipadを使用する

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

適宜学科問題対応のテキスト

予習復習のアドバイス

病院管理管理学、診療情報管理関連など、各單元ごとに、用語をまとめること

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	後期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	臨床医学Ⅱ	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	臨床医学全般について検定内容も含め学習する。				
	到達目標				
	病院職員として必要な臨床医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	chapter 1 外科とは	11	chapter 4 産科・婦人科 ①女性の性周期～③異常妊娠
2	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ①中枢神経系	12	chapter 4 産科・婦人科 ①女性の性周期～③異常妊娠
3	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ②呼吸器系 ③循環器系	13	chapter 4 産科・婦人科 ④新生児領域～⑥婦人科の腫瘍
4	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ⑤肝臓、胆嚢 ⑥乳腺、内分泌	14	chapter 4 産科・婦人科 ④新生児領域～⑥婦人科の腫瘍
5	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ⑦泌尿器系 ⑧整形外科	15	chapter 4 産科・婦人科 ④新生児領域～⑥婦人科の腫瘍
6	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ⑨耳鼻咽喉科	16	chapter 5 皮膚科 ①皮膚のしくみと働き
7	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ⑩眼科	17	chapter 5 皮膚科 ②皮膚の病的な状態
8	chapter 3 小児疾患の診断と治療 ①消化器疾患 ②栄養障害	18	chapter 5 皮膚科 ②皮膚の病的な状態
9	chapter 3 小児疾患の診断と治療 ③呼吸器疾患～⑧出生前疾患	19	chapter 5 皮膚科 ③主な皮膚疾患
10	chapter 4 産科・婦人科 ①女性の性周期～③異常妊娠	20	chapter 5 皮膚科 ③主な皮膚疾患

回数	講義内容	回数	講義内容
21	chapter 5 皮膚科 ③主な皮膚疾患	31	
22	chapter 5 皮膚科 ③主な皮膚疾患	32	
23	chapter 6 画像診断 ①X線撮影	33	
24	chapter 6 画像診断 ②磁気共鳴診断装置	34	
25	chapter 6 画像診断 ③超音波断層撮影	35	
26	chapter 6 画像診断 ④核医学検査	36	
27	chapter 6 画像診断 ⑤内視鏡検査	37	
28	期末試験対策授業	38	
29	期末試験対策授業	39	
30	期末考査	40	

講義方法

プリントを配布
適宜、グループ学習

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

臨床医学Ⅰ（前期継続）

予習復習のアドバイス

授業前に教科書を読んでおくこと。
授業後は、教科書・ノートで重要事項の復習を行うこと。

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	後期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	業務概論	講義曜日	時間割参照	講義回数	15
		単位時間数	30	単位数	1
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	医療文書を作成するにあたって医師事務作業補助作業を理解する				
	到達目標				
	医師事務作業補助者の各文書作成業務、作成時の規則等を理解する。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第1章 医師事務作業補助者業務について 第1節 医師事務作業補助者の必要性について	11	病院組織の特徴
2	第1章 医師事務作業補助者業務について 第2節 医師事務作業補助体制加算と診療報酬	12	医師事務作業補助技能認定試験 問題集学科 A
3	第2章 診療録の記載・電子カルテ 第1節 診療録の記載について	13	医師事務作業補助技能認定試験 問題集学科 B
4	第2章 診療録の記載・電子カルテ 第1節 診療録の記載について	14	医師事務作業補助技能認定試験 問題集学科 C
5	第2章 診療録の記載・電子カルテ 第2節 電子カルテについて 第3節 カルテ3原則	15	医師事務作業補助技能認定試験 問題集学科 D
6	第3章 個人情報保護 第1節 「個人情報保護に関する法律」について 第2節 個人情報について	16	期末考査試験
7	第3章 個人情報保護 第3節 個人情報保護法において義務付けられている7つのポイント	17	
8	第3章 個人情報保護 第4節～第6節	18	
9	第4章 医療機関における安全管理 第1節 院内感染防止について	19	
10	第4章 医療機関における安全管理 第2節 医療安全管理について	20	

講義方法

プリントを配布

適宜、グループ学習

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

医師事務作業補助者テキスト3

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	後期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	医療文書	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	医療文書を作成するにあたって医師事務作業補助作業を理解する正しい文書の作成方法を学習する。				
	到達目標				
	診断書や証明書、申請書の作成方法を身に付け、使用目的や提出先、様式・記載方法について理解を深め、実務に活かせるようにする。 医師事務作業補助技能認定試験の合格を目指す。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第1節 法的規制 第2節 一般的留意事項	11	第8節 医療要否意見書（生活保護）
2	第3節 診断書・証明書	12	第8節 医療要否意見書（生活保護）
3	第4節 傷病手当金支給申請書	13	第9節 休業補償給付支給申請書
4	第5節 死亡診断書・死体検案書	14	第9節 休業補償給付支給申請書
5	第5節 死亡診断書・死体検案書	15	第10節 自動車損害賠償責任保険診断書
6	第6節 処方箋	16	第10節 自動車損害賠償責任保険診断書
7	第6節 処方箋	17	第11節 治療用装具証明書
8	第7節 診療情報提供書	18	第12節 主治医意見書（介護保険）
9	第7節 診療情報提供書	19	第12節 主治医意見書（介護保険）
10	第8節 医療要否意見書（生活保護）	20	第12節 主治医意見書（介護保険）

回数	講義内容	回数	講義内容
21	医師事務作業補助技能認定試験問題集 実技試験A	31	
22	医師事務作業補助技能認定試験問題集 実技試験B	32	
23	医師事務作業補助技能認定試験問題集 実技試験C	33	
24	医師事務作業補助技能認定試験問題集 実技試験D	34	
25	医師事務作業補助技能認定試験問題集 実技模擬試験問題	35	
26	実技過去問	36	
27	実技過去問	37	
28	実技過去問	38	
29	実技過去問	39	
30	期末考查試験	40	

講義方法

プリントを配布
適宜、グループ学習

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

医師事務作業補助者テキスト4

講義要項（シラバス）

年 度	2022年度	時 期	後期	学 年	2年
学 科	医療情報管理科	学 年	時間割参照		
科目名	臨床医学Ⅱ	講義曜日	時間割参照	講義回数	30
		単位時間数	60	単位数	2
講師名	太田 利佳	実務経験	医療機関（総合病院）に医療事務員として5年勤務		
講義目標	一般目標				
	臨床医学全般について検定内容も含め学習する。				
	到達目標				
	病院職員として必要な臨床医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	chapter 1 外科とは	11	chapter 4 産科・婦人科 ①女性の性周期～③異常妊娠
2	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ①中枢神経系	12	chapter 4 産科・婦人科 ①女性の性周期～③異常妊娠
3	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ②呼吸器系 ③循環器系	13	chapter 4 産科・婦人科 ④新生児領域～⑥婦人科の腫瘍
4	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ⑤肝臓、胆嚢 ⑥乳腺、内分泌	14	chapter 4 産科・婦人科 ④新生児領域～⑥婦人科の腫瘍
5	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ⑦泌尿器系 ⑧整形外科	15	chapter 4 産科・婦人科 ④新生児領域～⑥婦人科の腫瘍
6	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ⑨耳鼻咽喉科	16	chapter 5 皮膚科 ①皮膚のしくみと働き
7	chapter 2 外科領域疾患の診断と治療 ⑩眼科	17	chapter 5 皮膚科 ②皮膚の病的な状態
8	chapter 3 小児疾患の診断と治療 ①消化器疾患 ②栄養障害	18	chapter 5 皮膚科 ②皮膚の病的な状態
9	chapter 3 小児疾患の診断と治療 ③呼吸器疾患～⑧出生前疾患	19	chapter 5 皮膚科 ③主な皮膚疾患
10	chapter 4 産科・婦人科 ①女性の性周期～③異常妊娠	20	chapter 5 皮膚科 ③主な皮膚疾患

回数	講義内容	回数	講義内容
21	chapter 5 皮膚科 ③主な皮膚疾患	31	
22	chapter 5 皮膚科 ③主な皮膚疾患	32	
23	chapter 6 画像診断 ①X線撮影	33	
24	chapter 6 画像診断 ②磁気共鳴診断装置	34	
25	chapter 6 画像診断 ③超音波断層撮影	35	
26	chapter 6 画像診断 ④核医学検査	36	
27	chapter 6 画像診断 ⑤内視鏡検査	37	
28	期末試験対策授業	38	
29	期末試験対策授業	39	
30	期末考査	40	

講義方法

プリントを配布
適宜、グループ学習

履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること

成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

教科書

臨床医学Ⅰ（前期継続）

予習復習のアドバイス

授業前に教科書を読んでおくこと。
授業後は、教科書・ノートで重要事項の復習を行うこと。